

予算審査のはじまりを告げる

代表質問

令和5年度当初予算

431億9000万円



全編ノーカットは
こちらから

市民のために「生きる」予算を!

「代表質問」は、各会派で決めた代表者が一議員の視点ではなく、市長の提案に対し会派として疑問と考える点や市民の関心のある施策について、質問する場です。

新たな一歩!

新風つばめ

限りある予算の使い道

子育てするなら燕市!

問 子育て政策部を創設して申請や相談をワンストップの対応としたように、新設する電子母子手帳アプリを活用するなどして一度登録すれば、それぞれのサービスを受けることができる一括申請のような形ができないか伺う。

答 妊娠届出後の申請には、医療費助成、児童手当などを含め様々なものがあり、法律や要綱等に基づき申請が必要な制度が多く、電子母子手帳アプリを使っての一括申請については、現状では難しいと考えている。



今あるアプリからさらに向上

不死鳥つばめ!

問 令和5年度はウィズコロナからアフターコロナに移行していく中で、フェニックス11といった目に見える対策が必要と感じるが、今年度はこれまでのようなフェニックス11の取り組みを行うべきでないか。

答 社会経済活動の一日も早い回復を目指し、国の追加経済対策による財源の有効活用を図りながら、フェニックス11+のような市独自の対策を講じるため、令和5年度補正予算で適時適切に対応していく。

フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復



はずみをつけよう!



一人ひとりを大切に

公明党

燕市の未来を応援!

ふるさと納税の未来

問 クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金事業は、これまでに実施してきた事業に関して、どのようなプロセスを経たのか、また今後事業目的をどのように抽出し、優先順位をつけて実施していくのか、決定までのプロセスを伺う。

答 これまで行った事業4件に関しては、重要度、緊急度が高い事業を選定し、その都度、議会で説明、協議し決定してきた。今後も重要度や緊急度が高く、多額の財政負担が見込まれる事業を、議会で説明、協議し決定していく。



思いがこもった遊戯施設

高齢者福祉の安心安全な未来

問 高齢者の居場所・交流拠点・見守り体制・生活支援体制・外出できない高齢者への支援などについての取り組みや、高齢者に対する基本的な考え方を伺う。

答 医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを続けてほしいと考えている。認知症地域支え合い事業の推進、交流拠点づくり、見守り体制の強化など行っている。高齢者の外出手段として、AIなどの最新技術による利便性の向上や、運転手の確保に努め、最適な公共交通網を形成していく。

市民に寄りそう

日本共産党議員団

公共業務や公共施設の役割

正職員数の比率減の支障は

問 会計年度任用職員前年比86人大幅増の要因は何か。正職員比率が毎年下落しているが、職員を育てる上での支障や市民サービスへの支障はないのか。

答 西小第三児童クラブ開設に伴う職員の増員、中学校の部活動地域移行対応で「外部指導員」の増員、学校介助員の増員が主な要因。正職員採用について、職務の知識や経験、技術の継承や育成上支障がないよう、業務量も踏まえ、計画的に進めてきた。

社会体育施設の使用状況

問 新型コロナ禍や使用料改定を経て、公民館分館など新年度使用料収入増の計上について、どれほど回復を見込むのか。

答 新型コロナ以前との比較で、公民館入館者数約50%落ち込んだが、徐々に回復。使用料収入は減免団体もあり入館者数と連動はしないが使用料改定前との比較で、140%増を計上した。



公民館分館「藤の曲公民館」